

競技注意事項

1 競技規則について

2022年日本陸上競技連盟競技規則及び本大会要項ならびに競技注意事項によって行う。

2 練習について

- (1) 練習は、指定された場所（補助競技場および雨覆トラック）を使用する。補助競技場の外側2レーンは短距離・リレー用、内側シンダー部分は中・長距離用として使用する。
- (2) 砲丸投の練習は公式練習のみとする。
- (3) 雨覆トラックは、スタート練習・ハードルの練習に使用する。
- (4) 棒高跳の練習は係の指示に従い、場内を使って行う。
- (5) 8時30分までは、練習のために競技場を開放する。

3 招集について

- (1) 競技者招集所は設けない。
- (2) 招集の方法
 - ① 競技者は競技開始時刻の**10分前（トラック競技）・30分前（フィールド競技）**に各スタート地点または競技場所にて最終点呼を受ける。その際、出発係にアスリートビブス・腰ナンバーカードの確認を受ける。
 - ② 当日朝の段階で棄権することがわかっている場合は、顧問が所定の用紙に記入し総務に提出すること。その後の棄権は、本人または代理人が出発係に申し出ること。
- (3) 招集完了時刻は開始時刻を基準として、プログラムの競技日程の欄に記載する。
- (4) 招集時刻に遅れたものは、当該種目を棄権したものとして処理する。
- (5) リレーの決勝に出場するチームは、招集開始1時間前までにオーダー用紙に必要事項を記入して、1部総務に提出する。

4 競技について

- (1) トラック競技はすべて写真判定装置で行う。
- (2) レーンで行うトラック競技においては、欠場者のレーンは空ける。
- (3) 短距離種目では、競技者の安全確保のため、フィニッシュライン通過後も自分のレーン（曲走路）を走ること。
- (4) リレーに出場するチームは、同一のユニホームで出場することが望ましい。
- (5) リレーの第2・3・4走者は、マーカーを一ヶ所使用することができる。走り終わったら必ずそのチームが撤去すること。
- (6) 男女800m・男子3000mにおいて、参加人数によってはグループスタートで行う。
- (7) 男子共通3000mは、東西同時スタートで行う。
- (8) タイムにより次のラウンドに進む競技者の決定については、同記録の場合は、1000分の1秒以上の差が認められた場合、着差として優劣を判定して進出者を決める。それでも決められないときは、該当競技者が集まり抽選で決定する。抽選のアナウンスがあってから5分以内に競技者が集まらないときは、棄権とみなす。
- (9) フィールド競技の計測値およびバーの上げ方は下記の通りとする。なお、当日の状況により変更することもある。

●走高跳 共通男子(練習1m30)	1m35	—	1m40	…	1m60	—	1m63	(以後3cm上げ)
●走高跳 共通女子(練習1m15)	1m20	—	1m25	…	1m40	—	1m43	(以後3cm上げ)
●棒高跳 共通男子(練習2m00)	2m10	—	(以後10cm上げ)					
●棒高跳 共通女子(練習1m60)	1m70	—	(以後10cm上げ)					
●走幅跳 共通男子	4m50	●走幅跳 共通女子	3m80					
●砲丸投 2年男子	7m00	●砲丸投 2年女子	6m00					
●砲丸投 1年男子	5m00	●砲丸投 1年女子	5m00					
- (10) 予選におけるトラック競技のレーン順、並びに跳躍・投擲競技の試技順は、プログラム記載の左側に示された番号順とする。
- (11) 跳躍競技者は、助走路の外側（走高跳は助走路内）にマーカーを2個まで置くことができる。競技が終わったら各自で撤去すること。
- (12) 棒高跳の競技者は、自分が希望する支柱の位置をあらかじめ当該競技役員に申し出る。その後位置を変更したい場合も当該競技役員に申し出る。

5 スパイクおよびシューズについて

- (1) スパイクの長さは9mm（走高跳は12mm）をこえてはならない。先端が鋭利なものでも構わない。
- (2) シューズ規則（フィールド競技TR5.5適用除外）が適応されトラック種目においてはシューズの厚さを計測する場合がある。

6 アスリートビブスおよび腰ナンバーについて

- (1) 競技者は、ユニホームの胸と背に必ずアスリートビブスをつける。ただし、棒高跳・走高跳・走幅跳の競技者は、胸または背だけでもよい。
- (2) トラック競技においては、写真判定用の腰ナンバーカードを進行方向に対して右側腰やや後方に四隅決着する。800m以上の種目は出発係から受け取る。

7 競技用具について

・競技に使用する用具は、会場備え付けのものを使う。ただし、棒高跳のポールは各自のものを使用する。ポールの検査は跳躍審判員が行う。

・競技で使用する滑る止めは各自で用意する。

8 競技場の入退場について

- (1) 感染症拡大防止のため、競技場内は競技出場者および大会役員・競技役員・生徒役員・許可を得た外部コーチ及び報道関係者以外立ち入り禁止とする。
- (2) 競技場内への入退場については、競技役員・大会役員・保護者は正面玄関から、その他の選手・関係者は第2ゲート（フィニッシュ後方）、第3ゲート（電光掲示板下）、聖火台階段からとする。
- (3) 役員・生徒役員以外は、本部前および本部ダッグアウト通路に立ち入ることはできない。
- (4) トラック競技に参加する競技者はフィニッシュ後、第1コーナー～第2コーナー～バックストレート外側を通り、スタート地点に戻るようにする。

9 表彰について

- (1) 各種目8位までの入賞者には賞状を用意する。顧問が式典係まで受け取りに来ること。
- (2) 各種目の優勝者にはカップ（持ち回り）を、用意する。

連絡事項

- (1) 体調管理チェックシートは全員分（選手、顧問、外部指導者）、受付で提出すること。
- (2) 生徒はスタート、フィニッシュ外側・両サイドスタンド外側・雨覆練習場のトイレを使用すること。競技場内のトイレは競技役員及び一般利用者専用とする。
- (3) 正面スタンドの最下段部分は、テント設置禁止とする。
横断幕は、メインスタンドを除く観覧席の上段のみとし、「のぼり」はメインスタンド以外とする。ただし、テントと一体にして結びつけるのは構わない。横断幕・のぼり・テントは通路をふさいで設置しないこと。
- (4) 声を出しての集団応援は禁止する。また、競技に支障のあるような応援はしないこと。
スタンドの最前列に立ったり、手すりにつかまったり、手すりから足を投げ出したりしての応援はしないこと。手すりを乗り越えたりしないこと（顧問・選手ともに）。
- (5) 各学校でゴミ袋を持参して、ゴミは必ず持ち帰ること。
- (6) 場内外にある自動販売機は一般用に設置してあるものなので、生徒が使うことは禁止する。
- (7) 体に装着するネックレスやプレスレッドなどは禁止とする。
- (8) 開始式は各校の控え場所（テント）に集合し、アナウンスにて行う。
- (9) 保護者の観戦は正面スタンド一部を開放する。詳細は別紙参照。
- (10) 当日の日程について
 - 6:00 競技役員・大会役員駐車場入場開始 ※保護者の車は入場できない。
 - 6:30 競技場開場（1ゲート・2ゲート・正面スタンド両サイド・電光掲示板下を開放）
 - 6:45 準備活動開始
 - 7:30 本競技場開放（～8:30）※会場準備が終了次第開放予定。
 - 8:00 代表者会議・競技役員打合せ（第3会議室）
 - 8:40 開会式（選手はテントに集合、アナウンスにて進行。）
ゲート閉鎖（第2ゲートは終日開放します）
 - 9:00 競技開始